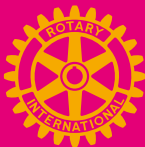


Rotary



白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

創立 1986 年



ロータリーは機会の扉を開く

2020-21年度国際ロータリーテーマ

2020～2021年度クラブ目標

『35年目の再構築 ロータリーの源流へ』

会長 吉野敬之
幹事 堀田一彦



第1666回例会

令和3年5月6日(12:30～13:30)

○ソング

- 国歌(君が代) ●奉仕の理想

○スマイルBOX

- 県南分区ガバナー補佐 遠藤武士様(県の表彰を受けます、中目公英様御祝い申し上げます。今日は5月30日(日)IMの御案内にまいりました。)
- 吉野敬之会長(本日卓話をいただきました新入会員の皆様卓話ありがとうございました。無理なく長～いお付き合いを期待いたしております。遠藤ガバナー補佐ようこそ。今年はノルマがきつくて大変ですが最後までよろしく願い致します。)
- 堀田一彦幹事(遠藤武士様、石川格子様ようこそ。誕生日ケーキありがとうございました。)
- 金田昇会員(新入会員の永山さん、水上さん、井上さん、卓話ありがとうございました。週報にて読ませていただきます。石川さん入会を心よりお待ちしております。本日は石川RCを表敬訪問するので欠席させていただきます。)
- 運天直人会員(5月1日、48才の誕生日を迎える事ができました。本年もがんばって参りますのでよろしく願い致します。)
- 中目公英会員(自然保護活動に於ける福島県功労者として、知事表彰の栄に浴することとなりました。今後も南湖公園の自然保護指導員として、ロータリーの奉仕の心を以て微力を尽くしたいと思います。)
- 宮本多可夫会員(月遅れになってしまいましたが、4月の誕生と結婚祝をいただきました。ありがとうございます。本日は遠藤ガバナー補佐、ようこそ。)
- 永野文雄会員(ゲスト、遠藤ガバナー補佐様ようこそ。石川格子様お待ちしております。中目パスト会長「自然保護・知事功労賞」の受賞おめでとうございます。卓話の永山会員、水上会員、井上会員、ありがとうございます。)
- 今井令雄名誉会員(結婚記念日のお祝の花束ありがとうございました。私達は今年50周年の節目の年を迎えました。)
- 山田顕一郎会員(誕生日の祝いをいただきありがとうございます。プレゼントは家族と今晚いただきたいと思えます。)
- 村上堅二会員(結婚祝い、誠にありがとうございます。永山さん、水上さん、井上さん、石川さん、是非とも楽しんで下さい。)
- 前原俊治会員(誕生祝有難うございます。5月11日で73才になります。まだしばらくゴルフはレギュラーティーで頑張ります。)

▶第1666回例会出席状況 (R3年5月6日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	49名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	14名
Ⓓ 全正会員数	63名
Ⓒ ①の出席者数	31名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	3名
Ⓕ ②の出席者数	10名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	44名
Ⓗ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	59
Ⓘ = ⑥ / ⑨ × 100 (例会出席率)	74.57%

▶例会日:第1・第3木曜日(12:30) その他の木曜日(18:30～19:30)

▶例会場:白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局:〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5(白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

本日のプログラム

■会長の時間



吉野敬之会長

皆様、こんにちは。本日も、ゴールデンウィーク明けというお忙しい中、多数ご出席いただきましてありがとうございます。本日、まずお客様をご紹介させていただきます。県南分区ガバナー補佐、遠藤さんです。遠藤さんには後程、一言ご挨拶を頂戴したいと思います。よろしく申し上げます。石川格子さん、新入会員です。石川さんは昨年、卓話をいただきましたので、皆様もご存じかと思いますが、先々週ですか入会申込書を頂戴いたしましたので、次の理事会で正式に入会が承認されますので、新しい仲間をお迎えしてまたまた元気にクラブ活動に励んでいきたいと思っております。先程、新入会員の方がいますので、分区ガバナー補佐というふうなご案内を差し上げましたが、これもう会員の方は皆さんもうご存知だと思んですけど、2530地区という所にこの福島県は単県で加盟しております。これは人数のカテゴリがありまして、人数が少ない場合には福島と山形が一緒になって、そういうふうな時代もあったと聞いております。そういうふうなカテゴリで福島は人数が多いので単県で2530地区というその地区が8つの分区に分かれています。ここは県南分区。会津、県北第一、第二、県中、いわき、相双、中央分区というふうな8つの分区がありまして、それぞれの分区と言われる所にガバナーの補佐をする方がいます。結局8人いらっしゃいます。その県南分区のガバナー補佐というのを務めていただいておりますのが遠藤さんです。次年度は、当クラブの金田昇バスト会長がそのガバナー補佐をするということでございます。後程、ちょうどお話あるかもしれませんが、地震等で延期になっておりましたインターシティミーティングの開催が5月30日に決定したということでご連絡を頂戴しました。本当に予想外の災害で主幹する矢吹クラブの方達は本当に大変な思いをされて5月30日をお迎えになるのかなと思うと、非常に大変な思いが伝わってくるかと思うんですけども、皆さん方ちょっと日には変わりましたが5月30日の日は、是非参加のほうで皆さんでお祝いをしてあげたいなと思っておりますので、よろしく願いいたします。一般的にゴールデンウィーク期間が終わりまして、大企業は今日明日のお休みを取って9日までの11連休というところもあるようですが、わたくしは弱小小売店でございますので、幸せなことにイオンは年中無休ということで、この休みの中ゴールデンウィーク期間中はシフトどおり二日間のお休みしかなかったんですが、今年はお休みが長くてもやはり日本全国いたる所で発令されております緊急事態宣言等で、やはり外出がなかなか難しいのかなと思いましたが、このゴールデンウィーク期間中去年と比べると非常に天気が悪かったように思います。これも何かの神様の仕業かなんていうふうに思いますが、なかなか外出、行楽というわけにはいかない方も多かったのかなという反面、わたくしの南湖のお店の向かい側がフラワーワールドがあるんですけども、やはりフラワーワールドあたりはちょっと天気が良くなると凄い人で賑わってました。この自粛生活も一年を超えてまいりまして、やはり皆さん方の心の中になかなかそれに従いきれないストレスも溜まっているのかなというふうに思います。私自身もそうですし、多分皆さん方もそうだと思います。そんな中で、IMを開催するというのはわたくし共の式典もそうでしたけれども、なかなか大変な事だ、いろいろなこういう会の運営もそうですし、皆様方の会社も大変だと思っておりますが、ワクチン接種がこれからどんどん進んでいく。年内には何とか8割9割は済むんじゃないかという話も出ておりますので、そ

に期待したいなと思っております。久しぶりの例会で若干舞い上がっておりますが、今日は新入会員の卓話ということで、自己紹介だけではなくてなかなか意外と皆さんの前でお話をする機会というのは多いようで少ないので、是非人となりを知るようなエピソードトークも含めて、お話を楽しみにしておりますのでよろしく願いいたします。

■ゲストのご挨拶

○県南分区ガバナー補佐

遠藤武士様



皆さん、こんにちは。マスクを外して話させていただきます。どうも私、山の中で過ごしてるもんですから、家にいる場合ほとんどがこのマスクというのはしていないものですから、どうも話すのについてもちょっとしづらいということがあります。そういうことで失礼させていただきます。中目さん、おめでとうございます。お祝い申し上げます。やはり、県知事から表彰を受けるというのはなかなか大変なようで、私もボーイスカウトの時、松平さんと佐藤栄佐久さんから知事表彰を受けましたけれども、やはり緊張するものです。そういうふうなことがありました。5月30日、最初の予定は2月14日にするわけでしたけれども、皆さんご承知のようにその時は今以上に緊縮令が出たものですから、それは仕方がない。それじゃあ、2月14日にその代わりに第4回会長幹事会を開こうかと、そういうふうなことで、大体会長幹事会は30名から40名を参加いただいて開いたものですから、そのくらいなら大丈夫だと今までもしてたものですから。そしたらば当日の未明ですか、仙台沖地震がありまして急遽、皆さん出席予定者に駄目になったからというふうなことで申しまして延期になったと。延期というより中止になったと。そういうふうなことが2月14日にありまして、今期の5月30日にもやはり、うちのクラブでやめた方がいんでないかというふうな話が多数出ましたけれども、私としてはこれは私の時だけIMを中止するというもの、あとに続く若い人たちがあの時あったんだからこういう理由で中止しないようにと思ひまして、するというふうなことで、それもこの2530地区の年次大会、これが日曜日、第1週第2週でしましたし、それと同じように会場を人数を制限すると。そして、インターネットを利用してすると。そういうふうなことでやろうかと思ひまして。その中で、二部というふうなことでやる内容の主なものは、1時間半ほどの講演をお願いすると。それは私も聞いてないんですけども、来週お話す予定なんですけど漏れ聞いたところでは、その人が研究している、1次2次3次と、そういうふうな現象がありますけれども、その方、6次7次のほうで勉強されている方だそうなんです。そういうふうなことをすると、6次7次のことを勉強した方は、今の現生の経済事情、政治情勢、そういうふうなことも話の合間に聞こえるんじゃないかと。そういうことを私としては楽しみにしまして、7月の初旬にその人とお話してたもんですから、是非私としてはその人の話を聞きたいなと。また、皆さんにもそれによって経営の参考になるんじゃないかと、そういうふうな考えをいたしましたものですから、年度末で忙しい方々おいでかと思ひますけれども、今申し上げた人数を制限してやりますので、あとはインターネットでもって聞かれますので、そういうふうなことで参加いただければと思います。あとついでに今思い出したんですけど、その方言うのにはこのズームとかそういうふうなことは情報が洩れると。そういうふうなことでもって、最初は私のほうもズームでどうしようかとお願ひしたんですけども、それは駄目だというふうなことになりまして、今のような状況になりました。そうしたらば、4月5日でしたね。新聞に出ましたけれども、そういうふうなものが全部中国政府によって情報を掌握してるんだというふうなのが新聞記事に出ました。それから、政府と

かいろんな人がもうそれでは大変だと。中国で保管してるやつを日本国内に持ってこなくちゃというふうなようになっております。それが今、いろんな意味でもって日本各地でそういうふうなものを情報の保管場所をするというふうなことになってきてます。その方もやはり、そういう情報に明るい方なんだというふうなことを改めて感心しました。少し長くなりましたけども、そういうことで今日はこれから会長さん渡部さんに今言ったIMのことでお世話になりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。ありがとうございます。

■幹事報告

堀田一彦幹事

- 国際ロータリー第2530地区 ガバナーエレクト 芳賀利彦、次期地区幹事 蛭田修二：地区名簿（全会員名簿）作成について
- ガバナー事務所：第3期RLI PART I の登録の締切について
- 国際ロータリー日本事務局 事務局長 小林宏明：国際ロータリー日本事務局「在宅勤務延長」のお知らせ
- ロータリーおもてなしイベント実行委員会 実行委員長 芳賀裕（パストガバナー）：「東京オリンピックおもてなしイベント」ロータリー青少年スポーツ活動写真提供のお願い
- ガバナー 石黒秀司：会員増強についてのミーティング 次第
- 国際ロータリー第2530地区 県南分区ガバナー補佐 遠藤武士、県南分区IM実行委員長 近藤均：県南分区インターシティ・ミーティング開催のご案内
- 国際ロータリー日本事務局財団室：財団NEWS2021年5月号
- 国際ロータリー日本事務局クラブ・地区支援室：2021年バーチャル国際大会のご案内

■委員会報告

○会員増強委員会

山田頭一郎委員長



皆さん、こんにちは。今、会長のお話の中にありましたとおり、新入会員の候補としましてほぼ入会確定なんですが、今日の時点では候補ということで石川さんが来ております。一言ご挨拶をいただきたいと思ひます。先程、会長も言っていましたけど、ちょっと人となりわかるようなエピソード等、全然話していただいて結構ですので。卓話で来ていただいたことあるので皆さんご存知だと思いますが、よろしくお願ひします。どうぞ。

○新入会員候補者

石川格子様



皆さん、こんにちは。連休前に入会申込書のほうを記入させていただきました。「東陽電気工事株式会社」の社長をしております石川格子と申します。連休中に誕生日を迎えまして38歳になりました。皆さんの娘さんとか息子さんとか同じ世代にいたりとか、とても親近感がわく会だと思ひて参加させていただいています。事務所のほうは新白河駅反対側はさんで「かつ枝食堂」の隣に本社を構えております。従業員は10名程度で、主に電気工事全般を取り扱っております。娘が今、幼稚園の年長さんにおります。子供は一人なんですけれども、いつも母に面倒を見ていただいているので、欠席することもあるかもしれませんが、入会と至った時には是非いろいろと教えてください。よろしくお願ひします。

○親睦委員会

櫻岡敏之委員長

・誕生日

- 前原俊治会員、鶴丸彰紀会員
- 松永紀男会員、堀田一彦幹事
- 運天直人会員、根本あゆみ会員
- 山田頭一郎会員



・結婚記念日

関谷亮一会員、村上堅二会員、吉野敬之会長
鈴木孝幸会員、井上敬裕会員



○雑誌広報委員会

村上堅二委員長



皆さん、こんにちは。雑誌広報委員会の村上でございます。今月もまた「ロータリーの友」皆さんのお手元に行ってると思ひますので、ご覧になりながらお話を聞いていただければと思ひます。ちょっとマスクを外させてもらいます。横組みの見開きのページですね。ホルガー・クナーク会長のお話ですけども、もともと会長のほうは今月は青少年育成月間という形になるので、そういった意味では子供たちを預かるそういったプログラムから入って、このロータリーという組織を非常に知ったということだと思ひ入れがあるという話で幾つかお話があります。その中で今回は、シムカイ・マシャラガという方がお話をしています。この事業に対して世界では本当に貧しい国もあるので、このプログラムによって自分の人生が変わる、世界が変わる、そういった事が多々あるということで、是非ともいろいろな機会を増やしてあげたいということだお話がありました。それから、横組みの9ページのほうですね。これはやはり、そういった奨学金のほうで日本に来た方のお話があります。今回はエジプトのアブデルハム・アハメドさんという方のお話がありました。非常に商習慣が違うということで、エジプトで日本人が非常に礼儀正しく素晴らしい留学をしたということで、日本に興味を持って是非日本に来たいという話で、その中でこの奨学金を得て活動させていただきまして。それによって、逆にいうといろいろ世界が広がって、自分の思っている事とまた違う事が世界にあるんだということを知って、そういった機会を作ってくれたということで非常に感謝されておりました。それから横組みの13ページ、川合菜月さん、この方は世界で今いろんな活動をされているんですけども、その中で栄養ということを見ると日本という国は非常に食生活が豊かであると。ですから、栄養に関していろいろ考えることはないんですけど、世界を見てみると非常にそこが大切になるんだと。その国に沿っていろいろと栄養に関して話してあげること。そして、それが人の命の繋がりになるということを実感されたそうです。それから横組みの16ページ、バギオ基金のほうですね。これは皆さん、前にそういったお話を聞かせていただいたんですけども、これまで3863名の方が奨学金を得て活動をされてるという話がありました。これも一つの日本とフィリピンの懸け橋になっているんだと実感しました。それから18ページなんですけど、これは「侃侃諤諤」という形で、この辺は今回新型コロナによっていろんな意味で変わった事、失った事、得た事を書いてあります。会社の居酒屋とか、41年間清掃活動が中止になったけれども初めて開いたコンクールでまた違う意味合いを持ってたということ等、多々書いてありますので是非この辺はお読みください。それから、21ページからは各ガバナーのお話があります。非常に興味深いことがありますので、是非機会があったら読んでいただければと思ひます。あとは、横組みの34ページから連載コミック、ポール・ハリスとロータリーとい

う形のものが毎回載っております。今回は、奉仕団体という形のロータリーがどういった形が変わってきたのか、そんな話が載ってます。是非、次回も楽しみにしてますのでご覧になっていただければと思います。長くなっちゃってごめんなさい。それとこれは横組み43ページに、ロータリーの国際会議のほうが6月12日から16日、これはバーチャルで行われるのが決まりましたので、そのご報告がありました。続きまして、縦組みのほうになります。縦組みのほう4ページ、今回は郡山ロータリークラブの会員でありますあさかホスピタル理事長の佐久間啓さんのお話が載っております。子供のことで精神の問題、いろんなお話があります。この中で興味深かったのは、動物は大体生まれてすぐ餌をもらうために泣くんですけども、人というのは肌と肌が触れ合うことを求めて泣くことが多いという話になります。私も自分の子供を考えると、付き合い方がどうだったのかなんていうような、そういった良心の呵責に感じるがありました。それと、いろんな子供がいますのでそれに対してどういった形をとるのか。子供というのは動き回るのが仕事なので、それをどう肯定していくのかを書いてありますので、是非読んでいただければと思います。それとも一つ、スマホの取り扱いについてですね、子供さんのスマホの時間とか決めてやるような形がいですよという話がありますので、その辺も是非読んでみてください。縦組みの9ページのほうは、今回は茨城県の下館ロータリークラブの潮田武彦さんという方の農業に対する姿勢が書いてあります。非常に農業に対して可能性を持ったそんな話になってますので、是非興味深いので読んでいただければと思います。縦組みの17ページ、これも結城の齋藤さんという方が「今の私のできること」の中でランドセルをタイに送るといふ事業をやっているということを知りました。当クラブも今、ランドセルを集めて送ろうという話がありますので、非常に子供たちにとっても貰ったほうも送る方もいろんな感情があったのだなとありますので、是非お読みいただければと思います。縦組みのほうですけども、255地区西那須野ロータリーのほうから、27ページのほうで西那須野ロータリーの方の寄稿がありましたので、是非読んでいただければと思います。そのぐらいですね。それとあと変わりますけども、ガバナー月信のほうで今回は9ページに白河西ロータリークラブ35周年記念式典の様子が書いてありますので、是非お読みいただければと思います。長くなりました。よろしく願いいたします。ありがとうございました。

■本日のプログラム

新入会員卓話

○永山龍太郎会員



皆さん、こんにちは。今、ご紹介に上がりました永山龍太郎と申します。35周年のちょっと前に入会の資料のほうを記載させていただいて入会させていただきました。本当全く何をどう話をしていいかわからないんですけど。まず、わたくし永山龍太郎と申しまして、父は永山龍雄になります。多分、皆さんご存じの方も多いと思いますけど。4人兄弟のうちのバッチで長男です。私、誕生日が1979年の1月1日生まれです。あんまり驚かないですよ。仕事のほうなんですけど、南湖の近くにありまして「永山産業株式会社」というところで代表取締役をさせていただいております。主に行っていることは、紳士のカジュアルシャツ、今私が着用させていただいているようなカジュアルのシャツを作らせていただいております。父から受け継いだんですけど、父がお仕事としてやってた取引先はすべて僕がなくしてしまいました。それで今、いろんな所と11社、11ブランドとの取引がありまして、毎年1月と6月にはパリコレのほうの商品も作らせていただいております。あと、製造のほ

うで縫製品を作らせていただいているんですけど、もう一つ事業がありまして警備業をやらせていただいております。警備業のほうは道路の工事をされる時の交通整理、プラスアルファ、イベント等のイベントの管理もやらせていただいておりますので、何かありましたらわたくしのほうまでご連絡いただければと思います。もう一つ、製造のほうなんですけど昨年11月に、オーダースーツの受注会というのを初めてやらせていただきました。当社、スーツは作らないんですけど、同じ業界で青森にある工場さんとコラボレーションしまして、当社の工場内でオーダースーツの受注会をさせていただきました。本当すごく良いスーツになりました。この中でも何名ご購入いただいた諸先輩方がおります。本当にありがとうございます。次回の開催は、8月のお盆明けを予定をして、今、どんな事だったらできるのかなということを考えておりますので、その時は皆様何卒よろしく願いいたします。自分的な部分で何をどう話していいかわからないんですけど、ここやはり一年ばかりコロナというものもありまして、健康ということをちょっと考えることが多くなりました。そういった部分で、最近私もアップルウォッチを付けて、毎日毎日8000歩以上を歩くようにというふうなことを考えてやっていますんですけども、どうしても夜の不摂生がたたってそんなに動けないという部分があります。ですが、本当に健康というものは大切だと思いますし、この後皆さんのほうも益々いろいろと活躍されることだと思いますので、健康には気を付けていただけたらと思います。それでは、永山龍太郎の紹介終わります。ありがとうございました。

○水上泰真人会員



皆さん、こんにちは。弁護士の水上泰真人と申します。今年に入って、地元に戻って開業が7年目に入りました。丸6年経ちました。地元に戻ってきてからというもの、私もともと出身西郷村でして、西郷村出身で弁護士になった人というのは私で3人目と聞いています。地元に戻って来てからよく聞かれるんですけど、白高出身ですよ。よく声かけられるんですよ。白河の他の弁護士の先生は皆さん白高出身の方が多いと思いますけれども、私は白高ではなくて旧白河女子高校です。現在の白河旭高校の出身です。後輩に弁護士がいるかどうかというのはちょっと私わからないんですけども、おそらく旭高校だと弁護士になったの私だけなのかなというふうに思っています。私が弁護士になったのが震災の年に弁護士の試験に合格してまして、なかなか受験の時も大変だったなという思いもあるんですけども。地元に戻って業務内容としては、主に企業における事故なんかを取り扱いをしています。労務問題でのトラブルもありますし、何か対外的な事故を起こしてしまったとかいうこともありますし、保険が使えるような事故の関係というのも多く取り扱いしています。半面、弁護士はいろいろな事件を取り扱いするんですけども、離婚問題とかそういったものの取り扱いはあまりしてはしません。そういう需要がすごくあるのかなというふうには思っているんですけども、弁護士も自分でやりたい仕事とかやらない仕事とか好きに選べるというところがやっぱり自由業の良いところかなと思ってまして、自分自身でやりたい仕事というところを選びながら、自分なりにやりたいように仕事できているのがすごく良いところだと思っています。仕事としてはそのような感じでやらせていただいているんですけども、家族構成についてはですけども、私は妻と子供3人との5人家族で一応実家に同居、二世帯住宅で同居しています。子供がまだすごく小さいので、一番上が6歳、真ん中が3歳、一番下が1歳ということで、年齢的にも事務所の開業と全く被るんですけども、なので開業の起ち上げと共に子育ても一生懸命やってきたというところも

ありまして。実は、弁護士会でも私が子供ができるあたりで、育児をする会員向けの会費の一部減免とかという制度ができたということもありまして、弁護士会の会費というのが、年間あたり大体平均で80万から100万円かかるんですけれども、その会費がだいぶ減額になるというところもありまして、一生懸命育児にあたって育児日記みたいなのを付けて、弁護士会に報告をあげるということをやっていました。なので、一番上が娘なんですけど本当におむつを替えて、ミルクを作ってあげて、離乳食を作ってあげて、寝かせてつけてというもう一日の世話というのを全部やりながら、仕事もしながらということで、開業当時は本当に大変だったなというふうに今思い出します。今、一番下が1歳ですけどももうだいぶ慣れたもんなので、妻に例えば一日見ててと言われても一通り見られるようにはなってます。これは、結構自慢かなというふうに思います。それから、自分の自慢というのもあるんですけど私18の時ですね、当時は高校では弓道部に所属していました。3年間、弓道を頑張ってそれなりに大会で入賞とかしたりもしたんですけども、その時の身長が172センチで体重が60キロですね。体脂肪率が8%から9%くらいでした。今、今年で37になるんですね。今36なんですけども、身長が176センチで体重が60キロ、体脂肪率が多分11%くらいですかね。なので、ずっと体形は維持できてるんですけど、特にスポーツはやってはいなくて、ただ最近ゴルフは一生懸命やるようにはしています。一番好きなことは、最近だとやっぱりゴルフですね。地元に戻ってきてからゴルフやらないんですかというふうに誘われることがすごく多くて、何でそんな誘われるのかわからなかったところはあったんですけど、白河は実は他に類を見ないくらいゴルフ場がすごく多い地域だということは今更ながらわかりまして、あちこちゴルフ場あるんですね。せっかくお誘いいただいたのでやってみようかと思ってやったらなかなか結構はまってしましまして、今ベストが101なんですけれども、なかなか100がきれいなところではあります。一生懸命練習はしているので、ロータリークラブでもゴルフの愛好会があるというふうに聞いてますので、一生懸命練習をして、そして100を切っていきたいなというふうに思っています。まず、入会して初めて参加できたのはこの週年記念コンペというのがこの間、参加させてもらえて本当に良い機会だったと思うんですけども、その時一緒に回らせていただいた堀田さんですとか運天さんですとか、皆さんと一緒に回らせていただいた時に、グランディで確か112だったと思うんですけども、一個前にグランディで回った時には、あそこは139とかそのくらいだったので、だいぶ上手くなってきたなという実感はあるのかなと思ってます。そんな形なので今も大体、月一くらいでゴルフは頑張ってるのはいるので、もし機会があったら是非お誘いいただければというふうに思っています。時間とするともうちょっと大丈夫なんでしょうかね。もう少しお話ししますと、合格した年が実は震災の年だったとお話したかと思うんですけども、震災のあった年の5月が司法試験の受験の日程です。実はその同じ試験会場では宮本先生の息子さんも同じふうに参加されてたはずなんです。私と宮本先生の息子さん、弁護士としては同期なんです。その年はやはり3月に震災があって、ものすごい映像とかも流れてまして、当時私は東京で1人暮らししてたんなんですけど、司法試験もその年に本当に実施できるのかどうかっていう議論があったくらいです。ところが、4月くらいだったかとは思いますが、被災した人については救済措置とかは特に定めず試験は実施するというふうに決まったというのがあって、私も実家の家族が原発事故で避難するかしらないかという話の中で、5月の受験をもう諦めて公務員試験とか、そういう他の試験をやるなり、就職するなりしないといけなかなというふうに思っていたんですけども、父のほうで今回は受けたほうが良いと。これまでののが本当に無駄になっちゃ

うから受けたほうが良いってことを強く勧められて、それで5月受験しまして、その年の合格発表の時に無事合格してたということがわかりまして。それがきっかけで、やっぱり震災で福島が大変な時に合格したというのは、地元に戻って貢献しなさいというふうに言われてるのかなということがあって、それで私はもともと埼玉県さいたま市の浦和区というところで弁護士として働いていたんですけども、独立して地元に戻ってきたという経緯があります。さいたま市では大体2年くらい勤めていたんですけども、その時の法律事務所というのがまさしく損害保険の適用があるような会社での事故とか、企業内でのトラブルとか、そういったものを多く取り扱っている法律事務所だったので、私も弁護士としてはそういう案件を沢山お取り扱いをして研鑽を積んでから地元に戻ってきたという経緯があって。それで冒頭のように、前の勤めてた事務所と同じような業務を自分の事務所でもやっているということになります。仕事の話とすると大体こんなような形ですかね。大体、人となり知っていただけたかなとは思いますが、育児にはかなり力も入れていますので。実は、幼稚園なんかでも父母の会の役員もやらせていただいている、その石川格子さんとも同じように父母の会の副会長と一緒にやらせてもらってます。育児に仕事に、それからゴルフに、やること沢山多くて休日結構疲れていることも多んですけども、まだまだ若いとは思いますが、今後も頑張っていきたいと思えます。皆さん、今後共よろしくお願ひします。

○井上敬裕会員



皆さん、こんにちは。「東京海上日動」の井上と申します。今日、来た時に運天さんのほうからちょっと予定がいっぱいだから再来週になるよということ言われたんですけども、前の永山さんがあまりにも簡潔なショートな会話をしていただいたので、ちょっと急遽番が回ってきて若干緊張しておりますので、よろしくお願ひします。このお話をする機会を設けさせていただきまして、実はゴールデンウィーク中、何を話せばいいんだろうというのを正直ずっと考えておりましたけども、正直見つからなかった中で唯一見つかったのが、今年私初めて白河のほうにまいりまして、会社人生のほうを振り返ってみますと、ちょうど25周年になるといった部分がありましたので、まだ25年といたるところでありますけども、その会社生活の中のこれまでの半生について簡単にですけどもお話のほうをさせていただきたいと思えます。私は会社のほうに入ったのが、大学を卒業して1997年の入社ですから、やっぱりその頃ってバブルももちろん崩壊しておりましたし、とは言ってもその影響があったり、あと運天さんとかも同じ年代ですけども、我々の年代というのがベビーブームといたるところもあって人数もすごく多いといたるところで、やはり就職の氷河期と言われていたような状況だった中で、自分の希望としましては少し海外のほうにも興味があったので、できれば海外に携わるような商社であったり金融関係に勤めたいなというふうに思っている中で就職活動してまして、たまたま今の会社の損害保険業のほうに入るといったところできたような状況です。実際に入ってみてなんですけども、97年から2002年の大体6年くらいは、私東京でディーラーさんを担当させていただくといった営業業務をしてたんですけども、もちろん初めその希望はやはり海外に関する部署に行きたいといったのがあったんですけども、ちょっとそこは残念ながら叶わなかったといった部分はあったんですけども。あと、この配属が決まってから初任地としては凄く厳しい部署だから気を付けたほうが良いよということ言われたんですけども、新入社員なので厳しいとか全然わからなかったんですね。実際に行ってみて仕事をしてみると、今思うとそういった面で厳し

いって言われたのかなって面があったんですけれども。そこはまだ97年で、当時残業加味とかがあんまり厳しくない時代でして、そこの厳しいと言われていた支店のほうが、大体私いつも朝8時半くらいに出社のほうをするんですけれども、すぐおしりのほう言ってしまうと、実際に帰るのがいわゆる午前様という形で大体1時くらいに帰るという流れがずっと続いていまして、もう少し説明のほうさせていただきますと、大体朝からずっと営業周りをしていて、6時半くらいに会社のほうに戻ってきて少し事務処理をやってから、なんか先輩たちがいきなり「飯、行こうよ。」というんですね。もうてっきりこれ帰るのかなと思ったら、食事だけしてじゃあ会社戻ろうかという感じで、すぐ会社に戻ってそこから夜の1時くらいまで仕事をしておりまして、時にはあんまり言うとうちの会社ブラックっぽんじゃないかって言われてしまうんですけども、11時くらいから会議のほうが始まったりだとか、それでももちろんディーラーさん相手ですので、土日まるまる休みというのがなかなかできませんでして、やはりどっちか土曜日なのか日曜日なのかは出社をするという感じで、なんか仕事ばかり今振り返るとしていたなという感じの6年間でした。ただこの6年間、ただきつだけかという私バカだったのか単純だったのかちょっとわからないんですけども、全然きつくなって結構それはそれで先輩たちともいろんな話ができたりだとか、あと代理店さん、お客様、すごく良い方が多くてすごく楽しかったんですね。確かに、肉体的にはきついんですけども、あんまり全然それ程きつさってというのはなかったという状況です。そんなこともやっているとプライベートの時間なんて全くないんじゃないかということもよく言われたんですけども、そこは上手くやりながらですね。無事に2001年の5月にも結婚のほうもできましたし、たまたまですね、妻のほうも社内といったところがありましたので、なんかこんな夜遅く帰ってくると怪しまれる部分が若干あるのかなと思ったんですけども、社内の事情というのを本当によく知ってましたので、何事もなく結婚生活のほうがスタートしていったというところがあります。先程、ペーパーのほうを見ていましたら冊子のほうにエジプトの部分が出てきましたけども、新婚旅行で皆さん大体ハワイとか行くんですけども、妻がエジプトに行きたいということがありまして、私は2001年の結婚してしばらく経ってから9月くらいにエジプトに新婚旅行に行ったというところがあります。エジプト行くと本当にピラミッドとかスフィンクスとか見る所が沢山あって、すごく良かったなという反面ですね、一方で2001年9月11日、あの同時多発テロが起こった時にちょうど私その時エジプトにいて、若干その中東のなんとなく雰囲気的に怖さといったものも少し感じまして、すごく新婚旅行としてはいい経験だったかなというふうには思っています。その6年が過ぎた後に、今度は場所としましては同じ東京だったんですけども、今度は代理店さんのほうが保険の専門のプロ代理店さんといわれる方を担当させていただくという形になりまして、今までは自動車ディーラーさん相手でしたので、自動車保険と自賠責保険くらいしか私知らなかったんですけども、今度はプロ代理店さんを担当させていただくことになりまして、火災保険であったり地震保険、あとは海外旅行保険だとか、そういった事まで結構扱わせていただいて、自分なりに幅というものが広がってきたのかなという感じがした部分があります。そこで勤務というのは2年間だけだったので、やはり2003年から2004年というのが他の会社さん、業界も同じだったとは思いますが、やっぱり会社の合併であったり統合という動きがある中で、当社のほうも2003年に合併のほうをして今の「東京海上日動」という会社が出来たといったところがあります。ただやはり、外から見るよりもやっぱり中に入ると企業文化といいますか、物事一つとっても考え方が全然違う会社同士が合併するというのは

相当大変でして、それに伴って支社の数のほうも半分くらいに減らしたんですかね、あの時は。それくらい減ってきたと、いったところもありまして、結構今後経験するのかなというくらいの経験をさせていただいたと、いったところがあります。ただ、この短かった東京のプロ代理店さんの担当の中で、プライベートにおいてはですね、2003年に長女のほうが生れてまして、やっぱり第1子と、いったことがありましてすごく可愛くてちょうど良かったんですかね。今まで夜の1時くらいまで働いていたところが、やっぱり業界、あとは社会の流れと、いったところもあって少しづつ早帰りだとか、あとは社会全体の中で今までの風土をもう一度見直そうよと、いったところがありましたので。一つ例を挙げますと、当社もそうだったので、以前女性の事務職の方には制服と、いったものがあったんですけども、もう2003年くらいからは廃止にするだとか、あとは今ではもう当たり前ですけども、机の上に一人一つくらい灰皿があったんですね。当時の97年くらいですけども。今なんて全然置いてなくて、逆に喫煙ルームと、いったのを作ったりしてるようなところがありますので、そういった意味でも早帰りといったものが徐々に定着しつつあるところだったので、私としても娘とすごく触れ合うことができたなというふうに思っております。そして、次の移動がまたありまして2005年から2009年の5年間なんですけども、今度は自動車保険を開発するセクションのほうに行きまして、今では当たり前前になりましたけども、自動車保険の人身傷害であったり、あとは結構東京とかでは売れております「ちょいのり保険」と、いったものがあつたり、そういった保険の商品の開発と、いったのをしております、やはり開発のほうにいきますと大体会社の流れと、いいますか、今後こういうふうに会社って進むのかなという部分がわかったので、そういった意味ではすごく勉強になったかなというふうに思います。また、プライベートにおいては今度長男のほうが生れてまして、先程、水上さんも仰ってましたけども、もうその頃は公私共々結構充実しております、水上さんと一緒なんですけれども逆に休みのほうが公園に行ったりだとか、あとは子供の友達とバーベキューをしたりだとか、いった形で、なんか肉体的には土日のほうが辛いような感じだったと、いったところがあります。5年すると、また私今度は移動になりまして、次が初めての関西のほうに行きまして、関西の滋賀の彦根と、いった所に赴任をするんですけども、初めはちょっと関西弁に圧倒されて、ちょっと何を言っているのか怒ってるのかなと思って、少し冷や冷やししながら対応をしておりましたけども、すごく周りの方、代理店さん、お客様の方が良い方が多くて、かなり充実した会社人生を送れたなと思っておりますし、そこもゴルフ場がすごく車で一番近い所が5分で行けるような場所だったので、私もかなりそこでゴルフをいろんな方に教えてもらって、最近は全然やってないんですけども、是非皆さんと一度はプレーしたいなというふうにいる次第です。その彦根の後に私が一番直近の場所でしたのが、また商品開発部門のほうに戻りまして、今度は傷害保険だとか海外旅行保険を取り扱う部署のほうに直近ではおりまして、そこでは今社会情勢ってすごく目まぐるしく動いてますけども、自治体の要請があつて認知症保険を開発したりだとか、あとは今ちょっとまだまだ拡大はしているコロナに対する特約と、いったものを作ったりという感じで5年間過ごしてたといったところがあります。そうこうしている中で、そこで5年間おりましてこの4月に白河のほうに参ったと、いったところがあります。まだ、私のマンション全然段ボール空けてない箱がいっぱいありまして、片付けてなくばたばたしてるような状況ですけども、早く慣れてこの白河という地にも慣れて、皆さんとも一緒にゴルフだとか、たまにはお酒を飲んで活動のほうをしていきたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願ひします。どうもありがとうございました。